

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成25年8月8日 (2013.8.8)

【公開番号】特開2013-100249(P2013-100249A)  
 【公開日】平成25年5月23日 (2013.5.23)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-026  
 【出願番号】特願2011-245483(P2011-245483)  
 【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 14/78 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/28 Z N A

C 0 7 K 14/78

G 0 1 N 33/53 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月7日 (2013.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトプロフィラグリンのC末端ドメインに特異的な抗体であって、当該C末端ドメインが配列番号 1 に記載のアミノ酸配列から成るペプチド、あるいは、当該アミノ酸配列の 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失若しくは置換されているか、又は、当該アミノ酸配列に対し 1 若しくは数個のアミノ酸が付加されたアミノ酸配列から成るペプチドである、抗体。

【請求項 2】

フィラグリン遺伝子の異常を検出するための方法であって、請求項 1 に記載の抗体を用いて、対象の皮膚試料における当該C末端ドメインの有無を検出する工程、及び当該C末端ドメインが検出されない場合に、当該対象のフィラグリン遺伝子に異常があると判断する工程、を含んで成る方法。

【請求項 3】

前記C末端ドメインが検出されない場合に前記対象がアトピー性皮膚炎に罹患しているか、罹患する可能性が高いと判断される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記皮膚試料がテープストリッピングにより得られた角層試料である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

フィラグリン遺伝子の異常を検出するためのキットであって、請求項 1 に記載の抗体を含んで成るキット。